

待遇表現

【時間・コマ数】

週5日 全20コマ（1コマ50分×2週間）

【クラス人数・クラス数】

6～8人、9クラス

【到達目標】

- ・総合的な待遇コミュニケーション（敬語表現、待遇行動、敬意表現）を身につける
- ・場面に応じた適切な対応ができる
- ・積極的にロールプレイを活用し、「わかる」から「できる」を目指す
- ・音声面にも意識を向け、自然な発話を身につける

【授業概要】

円滑な人間関係を構築し、敬語とその随伴行動、社会慣習、礼儀、挨拶等を含めた言語行動を身につけるため、会話練習やロールプレイを中心に授業を行う。言語機能を理解し、場面や状況、相手の立場や関係性に応じて適切な対応ができるよう練習する。あわせて、各ユニットの言語機能に応じて、Eメールの書き方も学習する。

【授業テーマ・内容】

U0「準備編」（敬語、受給表現の復習）

U1「自己紹介、専門などの説明、挨拶、話しかけ」

U2「欠席や遅刻の連絡をする・簡単な伝言を頼む／受ける・伝言を伝える」

U3「訪問する／辞去する ほめられる／ほめる」

U4「報告する・謝罪する・お礼する」

U5「助力を申し出る・助力を受ける／断る

U6「許可を求める」

U7「助言を求める／助言する」

U8「依頼する・依頼を受ける／断る」

U9「誘う・誘いを受ける／断る」

U10「条件について交渉する」

U11「問題への対応（苦情を言う・言われる）」

【教材】

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター「待遇表現」自作教材

以上